

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 3 月 7 日(2023.3.7)

【公開番号】特開 2022-180437(P2022-180437A)

【公開日】令和 4 年 12 月 6 日(2022.12.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-224

【出願番号】特願 2022-143467(P2022-143467)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088(2006.01)

10

A 6 1 P 29/00(2006.01)

A 6 1 K 31/713(2006.01)

A 6 1 K 48/00(2006.01)

A 6 1 K 31/712(2006.01)

C 1 2 N 15/113(2010.01)

C 1 2 Q 1/686(2018.01)

C 0 7 K 16/18(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

G 0 1 N 33/50(2006.01)

G 0 1 N 33/68(2006.01)

20

C 1 2 N 5/0786(2010.01)

C 1 2 N 5/0784(2010.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 29/00 Z N A

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/712

C 1 2 N 15/113 Z

C 1 2 Q 1/686 Z

30

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 5/10

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 33/68

C 1 2 N 5/0786

C 1 2 N 5/0784

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 27 日(2023.2.27)

【手続補正 1】

40

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体において H o m - 1 の発現を阻害するための核酸分子及び薬学的に許容可能な担体を含む組成物であって、前記核酸分子が配列番号 3、4、5 又は 6 の配列を有するそのま
まのモルホリノオリゴヌクレオチドである組成物。

【請求項 2】

50

局所、経口、直腸、経鼻、静脈内、関節内、結膜、頭蓋内、腹腔内、胸膜内、筋肉内、髄腔内又は皮下投与経路用に配合される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記被験体が炎症性障害を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記炎症性障害が炎症性腸疾患（ I B D ）である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

H o m - 1 阻害剤で処理した、又は H o m - 1 阻害剤を発現する発現構築物を含有する改変マクロファージ、単球又は樹状細胞を含む医薬組成物であって、前記改変マクロファージ、単球又は樹状細胞が、対照レベルと比較してより低レベルの H o m - 1 を発現する医薬組成物。

10

20

30

40

50